

磐城時報

日七廿月... 印刷部... 電話... 廣告料... 訂代金... 印刷部... 電話... 廣告料... 訂代金...

誰に落ち着くか 避け難き紛糾

けふ午後・選友詮衡委員会開く 星一氏の出馬説

石城政友部の公認詮衡委員会如何なる態度を表明するか頗るは廿六日マルトモキールに開催注目し、また錦村出の管であつたが都合により今廿身星一氏はキ製薬破産宣告新七日午後一時から變更となつての示談成立以來信用の回復によつて順に頹勢を轉じて好調の勢を辿りつつあるに際して、石城郡から一名の公認に對し新政友系を背景とする佐藤庄太郎氏の再起説が正面衝突の現狀にあるので議論は相當紛糾をきたし、雪原を擧げんとする決意は、夕刻若くは深夜には昭會公認候補として既に既成政及ぶ形勢である。

部會としては結局鈴木現代議士を公認と決定するであらう。その時に於て佐藤代議士が果して非公認でも出馬するか或はまた

四千有余の選挙民に 肅正を鑄込む

全町各階級を動員して けふ選挙肅正祈願祭

来月廿日執行される衆議院選挙を目前にして去る廿三日から五日間全町一帯に行はれてゐる肅正祈願週間に際し平町では、ホスター掲出、縣より配布のもの、町役場にて調製のもの、各要所に選挙肅正標旗を立ててゐるが、今廿八日の最終日に分れ旗行列をなし全町隈なく一周、平町四千有余の選挙民の胸に「選挙肅正」の四字をガツンと鑄込んだ。

雪がモツケの幸ひ 漁夫の利の自動車屋

舊正月人出の跡

初賣り景氣を現出した人出の跡を平驛の出札氏にきく「舊正月の廿五日は矢張り雨に祟られて豫期よりは少く、降客四千四百七十四人、乗客四千七百七十人平日の三倍であつたが舊正月の廿六日は快晴に恵まれ前日より三割増しの降客六千四百二十二、乗客五千九百八十八人で前年の舊正月に比して先づ二割五分の増加であつた。

常には國鐵以上の増収を擧げる自動車業者は舊二日の雪がモツケの幸ひで漁夫の利を占め平驛の交通統制も物かは各路線の乗合バスもどの車もどの車も満員鈴鳴りの物凄さであつた。

悪天候を克服して 初賣り景氣良好

二、三兩日平均して先づ上々 落ちた金卅五萬圓突破

「北西の風曇、後雨又は雪」舊正の二日の天気豫報が小名濱測候所も相變らぬ舊正景氣を謳歌したとして近來になくピツツと一もの世界館、平館の兩映畫常致して待望の二日市景氣も天ト設備で晝夜とも近郷近在から溢れ出した観客を最大限度まで吸収して、いづれもホクホクの態。

剣道昇級試験

六十一名が受験

武徳會本縣支部主催の剣道階級試験は廿六日範士小川文章氏審査で平驛演武場で行はれたが参加は合計六十一名、うち學生で加は中四名あつた。各級の受験者一級五、初段二八、二段二〇、三段一一、四段七。

蓄膿症 快鼻湯

本剤は幾多の藥劑あり、雖他藥の及ばざる良藥であり、左の病症の方は一時も早く服用され快癒され、事を御奨め致します。

蓄膿症、慢性急性鼻加容兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり。其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。

磐城國平町一丁目
水野藥局
責任製劑者 藥劑師 水野清一
電話 六九九番

理髮 東京

親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

平町三丁目警察署通り

八方散

飲め切手に治るはれ物の妙藥

平町田町
サロンの
電三五二

サロンの

美味で評判の
電三五二

時代要求

皆様の足!!

豆タクが入りました
御玄関から御玄関へ
迅速簡便是非御利用下さい
市内 三十銭
市外 四割引

流線型セダン 大型貸切バス
宮行直通 二丁目尼子
自動車部より發車いたします

平町三丁目 尼子自動車商會
電話六四〇番

かまぼこ製造
折詰仕出し
お惣菜用 さつま場

平町二丁目 電話三〇五番
藤市

新設 外科 内臓外科 院長 安齋 徹
エソキス光線科
産婦人科 醫學士 黒澤 廣

大塚院
安齋醫院
電話四七五

季節料理

かきなべ	三〇	煮込みなべ	三五〇
はもなべ	同	豚なべ	三五〇
いななべ	同	鳥なべ	同
ねぎまなべ	同	あび天ふら	三五〇
あんこなべ	同	いじ天どん	三五〇
ちりなべ	三〇〇	あびふらい	三〇〇
あなごちりなべ	三〇〇	かきふらい	三〇〇
たらちりなべ	同	あんこも酢	二〇〇
酢のもの	二〇〇		

その他... 30銭

等々始めました、何卒御試下さい。

魚清食堂
電話六三三番

ほねつぎ

桑原柔道整骨院
平町公園下(電話六七四)

かまぼこ製造
折詰仕出し
お惣菜用 さつま場

平町一丁目(電話一四二番)
藤市

第貳拾 事業報告

昭和拾陸年拾貳月卅日現在

貸借対照表	資産之部	未拂込資本金	八、〇〇〇、〇〇〇
		土地及立木代	七、五〇〇、〇〇〇
		竹	一、三〇〇、〇〇〇
		什器	二、五〇〇、〇〇〇
		創立費	一、〇〇〇、〇〇〇
		前期繰越損失金	三、三六六、八〇〇
		当期損失金	四、八〇〇、〇〇〇
		合計	二、九〇〇、〇〇〇
	負債之部	資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇
		借入金	一、〇〇〇、〇〇〇
		合計	一一、〇〇〇、〇〇〇
損益計算書	損入之部	損失金	四、八〇〇、〇〇〇
		合計	四、八〇〇、〇〇〇
	支出之部	印刷費	八、〇〇〇
		會費	一、〇〇〇
		登記料及手数料	一、〇〇〇
		事務所費	一、〇〇〇
		役員報酬	一、〇〇〇
		利息	一、〇〇〇
		税金	一、〇〇〇
		雑費	一、〇〇〇
		道修費	一、〇〇〇
		合計	八、〇〇〇
損益處分		一金參千九百參拾六圓八拾四錢	
		一金四百八圓拾貳錢也	
		金四千參百四拾四圓九拾六錢	
		右之通り也	
		昭和十六年 月二十六日	
		石城郡平町一丁目二番地	
		取締役 鷹崎正見	

漆器と家具は

和久井屋
電話四〇五番

耳鼻咽喉科
山内醫院
平田町 電六九

吉田眼科醫院
平町新屋町(電話六八番)

車の御用命なら
何でも昭和タクシーへ!!!
車は新車「安全で迅速」料金は「低で確實」
親切を賣るのが昭和タクシーの信條です。
可愛がつて載ります。

昭和タクシー
電話 三四三番